

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年7月13日

【四半期会計期間】 第11期第1四半期(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

【会社名】 株式会社サークルKサンクス

【英訳名】 Circle K Sunkus Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中村元彦

【本店の所在の場所】 愛知県稲沢市天池五反田町1番地

(注) 上記は登記上の本店所在地であり、実際の本店業務は下記で行っております。  
東京都中央区晴海二丁目5番24号

【電話番号】 0587(24)9500(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理財務本部長 山口利隆

【最寄りの連絡場所】 愛知県稲沢市天池五反田町1番地

【電話番号】 0587(24)9692

【事務連絡者氏名】 取締役経理財務本部長 山口利隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第10期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第11期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第10期
会計期間	自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日	自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日
チェーン全店売上高 (百万円)	223,476	235,791	923,185
営業総収入 (百万円)	47,333	46,886	192,304
経常利益 (百万円)	3,652	4,709	17,477
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (百万円)	394	1,733	7,165
純資産額 (百万円)	131,540	133,212	136,672
総資産額 (百万円)	253,934	268,211	240,027
1株当たり純資産額 (円)	1,570.57	1,590.55	1,631.86
1株当たり四半期 (当期)純利益又は 四半期純損失( ) (円)	4.70	20.70	85.55
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	51.8	49.7	56.9
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	29,626	30,323	27,302
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	163	3,823	8,323
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,904	2,541	6,540
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	90,057	99,896	75,938
従業員数 (名)	2,094	2,090	2,019

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. チェーン全店売上高、営業総収入には、消費税等は含まれておりません。

3. チェーン全店売上高には、(株)ゼロネットワークスの売上は含まれておりません。

4. 第10期第1四半期連結累計(会計)期間および第10期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 第11期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

6. 従業員数は就業人員を記載しております。

7. 当第1四半期連結累計(会計)期間より、サンクス東埼玉(株)を連結の範囲に含めております。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年5月31日現在

従業員数(名)	2,090 ( 573)
---------	-----------------

(注) 1. 従業員数は、就業人員であります。

2. 従業員数欄の( )内は、外書で嘱託およびパートタイマー等（期中平均在籍人数「8時間換算」）であります。

### (2) 提出会社の状況

平成23年5月31日現在

従業員数(名)	1,780 ( 516)
---------	-----------------

(注) 1. 従業員数は、就業人員であります。

2. 従業員数欄の( )内は、外書で嘱託およびパートタイマー等（期中平均在籍人数「8時間換算」）であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) コンビニエンスストア事業に係る店舗数

(単位：店)

地域別	チェーン全店舗数		
	前第1四半期 連結会計期間末 (平成22年5月31日現在)	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年5月31日現在)	比較増減
<㈱サークルKサンクス>			
北海道	193	191	2
青森県	106	106	
岩手県	88	90	2
秋田県	103	95	8
宮城県	110	102	8
山形県	49	49	
福島県	22	20	2
茨城県	52	51	1
群馬県	14	14	
千葉県	134	133	1
埼玉県	31	29	2
東京都	588	591	3
神奈川県	329	334	5
新潟県	96	98	2
富山県	68	67	1
石川県	105	110	5
福井県	46	43	3
長野県	126	132	6
岐阜県	253	260	7
静岡県	282	293	11
愛知県	957	969	12
三重県	222	225	3
滋賀県	48	46	2
京都府	106	109	3
大阪府	403	400	3
兵庫県	175	171	4
奈良県	45	46	1
和歌山県	21	21	
岡山県	132	128	4
広島県	47	48	1
福岡県	13	24	11
計	4,964	4,995	31
<エリアフランチャイザー 他>			
青森県	68	71	3
栃木県	41	46	5
埼玉県	77	151	74
東京都	66	65	1
神奈川県	6	5	1
石川県	81	81	
福井県	19	19	
愛媛県	53	54	1
高知県	29	28	1
計	440	520	80

(注) 「エリアフランチャイザー 他」の項目には、㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーは含まれておりません。

## (2) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高

コンビニエンスストア事業における地域別および商品別のチェーン全店売上高は以下のとおりであります。

## 地域別売上状況

地域別	前第1四半期 連結会計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)		当第1四半期 連結会計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)		前年 同四半期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
<㈱サークルKサンクス 他>					
北海道	6,689	3.2	6,737	3.1	100.7
青森県	3,723	1.8	3,646	1.7	97.9
岩手県	3,023	1.5	2,978	1.4	98.5
秋田県	3,521	1.7	3,397	1.6	96.5
宮城県	3,934	1.9	3,372	1.6	85.7
山形県	1,672	0.8	1,517	0.7	90.7
福島県	741	0.4	611	0.3	82.5
茨城県	1,976	1.0	2,176	1.0	110.1
群馬県	410	0.2	457	0.2	111.5
千葉県	5,564	2.7	5,780	2.7	103.9
埼玉県	1,330	0.6	1,345	0.6	101.1
東京都	27,331	13.2	28,554	13.2	104.5
神奈川県	14,482	7.0	15,253	7.1	105.3
新潟県	3,364	1.6	3,676	1.7	109.3
富山県	2,641	1.3	2,818	1.3	106.7
石川県	4,425	2.1	4,865	2.2	110.0
福井県	1,620	0.8	1,653	0.8	102.1
長野県	4,703	2.3	5,095	2.4	108.3
岐阜県	10,496	5.1	11,324	5.2	107.9
静岡県	11,219	5.4	11,984	5.6	106.8
愛知県	43,752	21.1	45,070	20.9	103.0
三重県	10,123	4.9	10,769	5.0	106.4
滋賀県	1,856	0.9	1,986	0.9	107.0
京都府	4,476	2.2	4,749	2.2	106.1
大阪府	16,848	8.1	17,588	8.2	104.4
兵庫県	7,028	3.4	7,230	3.3	102.9
奈良県	1,950	0.9	2,045	0.9	104.9
和歌山県	914	0.4	993	0.5	108.7
岡山県	5,161	2.5	5,251	2.4	101.7
広島県	1,718	0.8	1,877	0.9	109.3
福岡県	325	0.2	779	0.4	239.5
計	207,030	100.0	215,593	100.0	104.1
<エリアフランチャイザー 他>					
青森県	2,332	14.2	2,422	12.0	103.8
栃木県	1,433	8.7	1,734	8.6	121.0
埼玉県	2,858	17.4	5,889	29.2	206.1
東京都	2,675	16.3	2,741	13.6	102.5
神奈川県	219	1.3	228	1.1	104.1
石川県	3,356	20.4	3,463	17.1	103.2
福井県	648	3.9	709	3.5	109.4
愛媛県	1,918	11.7	1,966	9.7	102.5
高知県	1,003	6.1	1,042	5.2	103.9
計	16,445	100.0	20,198	100.0	122.8
合計	223,476		235,791		105.5

(注) 1 「エリアフランチャイザー 他」の項目には、㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーは含まれておりません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

商品別売上状況

商品別	前第1四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	
<㈱サークルKサンクス 他>					
ファースト・フード	34,900	16.9	34,820	16.2	99.8
生鮮食品	26,737	12.9	25,832	12.0	96.6
加工食品	60,057	29.0	59,139	27.4	98.5
食品小計	121,695	58.8	119,792	55.6	98.4
非食品	71,991	34.8	82,828	38.4	115.1
サービス	13,344	6.4	12,971	6.0	97.2
計	207,030	100.0	215,593	100.0	104.1
<エリアフランチャイザー 他>					
ファースト・フード	2,630	16.0	3,060	15.2	116.3
生鮮食品	2,475	15.1	2,733	13.5	110.4
加工食品	5,138	31.2	5,736	28.4	111.6
食品小計	10,244	62.3	11,530	57.1	112.6
非食品	5,508	33.5	7,771	38.5	141.1
サービス	691	4.2	895	4.4	129.5
計	16,445	100.0	20,198	100.0	122.8
合計	223,476		235,791		105.5

- (注) 1 数量は品目が多岐にわたり、表示することが困難かつ適切でないため記載を省略しております。  
2 「エリアフランチャイザー 他」の項目には、㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーは含まれておりません。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

##### （1）経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響で、サプライチェーンの混乱や電力不足による急速な生産縮小が発生しました。その後、企業の生産活動は徐々に正常化に向かい、東北地域を中心とした復興需要もあり、個人消費は緩やかな回復傾向を示しましたが、今後の電力不足問題や政治情勢の不安定化が懸念され、予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中で、当第1四半期連結会計期間の営業総収入は、加盟店からの収入が増加したものの、削減を進めた自営店の売上が減少したことにより468億8千6百万円（前年同期比0.9%減）となりました。営業利益は、削減した自営店に関連する維持管理コスト等の販売費及び一般管理費の減少もあり47億5千6百万円（同29.5%増）となり、経常利益は47億9百万円（同29.0%増）となりました。また、四半期純損失は、減損損失や資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額などの特別損失を73億9千7百万円計上したことなどにより17億3千3百万円（前年同期は四半期純利益3億9千4百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、株式取得によりサンクス東埼玉㈱を新たに連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、東日本大震災で被災した一部店舗が一時休業および営業時間短縮となったほか、一部の商品製造工場や物流センターの被災により商品の欠品・遅配などが発生したことから、震災発生直後の東北地域における売上は急減いたしました。しかしながら、その後、商品供給体制の再構築、店舗の通常営業再開とともに売上は回復傾向を示しました。東北地域においては復興需要も発生し、同地域の既存店売上高前年比は高い伸び率となりました。

また、全国的には、平成22年10月の増税に伴うたばこ売上の伸長が3月以降も継続したほか、ファーストフードやデザートなど主力のオリジナル商品が好調に推移したことも売上回復に寄与しました。

なお、東日本大震災発生後は、自粛ムードの高まりへの配慮から各種販促企画・キャンペーンを中止いたしました。4月以降は販促企画を再開し、テレビCM放映や「韓国フェア」の開催など積極的な販促活動を行いました。

一方で、売上金の一部を義援金として寄付する被災地応援企画の展開や、東北地域の食材を積極的に活用した商品の開発など、店舗の営業や商品提供を通じて被災地の復興支援を図りました。

商品面におきましては、オリジナルデザート「Cherie Dolce（シェリエドルチェ）」の更なる強化を目指し、「天使のプリン」を開発しました。多くのお客様より支持され、発売後15日間で販売数100万個を突破する大ヒット商品となりました。オリジナルパスタ「rubbetta（ルベッタ）」では、人気料理家ケンタロウ氏監修商品の発売により、調理麺分類全体の底上げを図りました。また、500円程度の間価格帯弁当「なるほど！弁当シリーズ」が好調に推移し、米飯分類の販売単価の向上につながりました。さらに、フライヤーやコーヒーマシンの導入拡大や「夜割」サービスの定着などにより、カウンターフーズ分類の売上が堅調に推移しました。

サービス面におきましては、独自のネット通販サイト「カルワザオンライン」を4月に立ち上げました。当社の会員クラブ「カルワザクラブ」とのポイント連携や店舗での商品受取りなど、リアル店舗網と融合して従来のコンビニエンスストアの品揃えの枠を超えた多種多様な商品の提供を実現しました。さらに、店頭情報端末を活用した「おみせdeツーン」では、豊田通商株式会社が展開する介護商品の取扱いを開始するなど、高齢者に向けた品揃えの拡大を図りました。なお、サークルK・サンクス店舗等における当第1四半期連結会計期間末の「ゼロバンク」ATM設置台数は2,626台、「Bank Time」ATM設置台数は1,600台となりました。

店舗開発面におきましては、駅構内や工場、オフィスビルなどの狭小物件や閉鎖商圏への出店を促進するため、投資コストを抑制し、立地に最適な品揃えに絞り込んだ「ミニ店舗」フォーマットを新たに開発しました。

当第1四半期における出店数は59店舗（内、みんなのイチバは1店舗）、閉店数は59店舗（内、みんなのイチバは1店舗）となり、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は5,515店（内、みんなのイチバは61店舗）となりました。

これらの結果、コンビニエンスストア事業に係るチェーン全店売上高（㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーを除く）は2,357億9千1百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

流動資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて21.5%増加し、1,282億4千2百万円となりました。

固定資産は、リース資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、1,399億6千8百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、2,682億1千1百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、預り金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて29.1%増加し、1,052億3千2百万円となりました。

固定負債は、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う資産除去債務の計上などにより、前連結会計年度末に比べて36.4%増加し、297億6千6百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて30.6%増加し、1,349億9千8百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、1,332億1千2百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、998億9千6百万円（前年同期比10.9%増）となり、前連結会計年度末に比べて239億5千7百万円の増加となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減損損失が25億8百万円（同4.3%増）、各種料金収納や納税受付による預り金の増加が213億1百万円（同6.4%減）、資産除去債務会計基準適用に伴う影響額が40億2千8百万円となったことなどから、303億2千3百万円（同2.3%増）の収入超過となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出10億円（同14,194.3%増）、新規出店や既存店の機能改善などによる有形固定資産の取得による支出24億2千5百万円（同30.4%減）、保証金の差入による支出5億8千5百万円（同16.1%減）があったことなどから、38億2千3百万円（同2,245.8%増）の支出超過となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払16億7千5百万円（同0.0%減）があり、リース債務の返済が6億5千5百万円（同70.3%増）となったことなどから、25億4千1百万円（同12.5%減）の支出超過となりました。

## (4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上および財務上の対処すべき課題に変更および新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。



## 第3 【設備の状況】

## (1) 主要な設備の状況

## 提出会社

当社は、当第1四半期連結会計期間に次の設備を取得いたしました。

セグメントの名称：コンビニエンスストア事業

事業所名	所在地	設備の内容	取得価額(百万円)					合 計
			建物及び 構築物	器具及び 備品	土地 (面積 千㎡)	リース 資産	その他	
本部・ 事務所	愛知県 稲沢市 他	本部・ 事務所	0	4	( )			5
店舗 (新設店 53店 他) (注)2	岐阜県 岐阜市 他	店舗	914	184	( )	1,629		2,729
合計			915	189	( )	1,629		2,734

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 店舗には当社が所有するエリアフランチャイズ(新設店2店舗)に係るものを含んでおります。

国内子会社

当第1四半期連結会計期間に次の設備を取得いたしました。

セグメントの名称：コンビニエンスストア事業

会社名	事業所名	所在地	設備の内容	取得価額(百万円)					
				建物及び構築物	器具及び備品	土地(面積千㎡)	リース資産	その他	合計
サンクス青森(株)	店舗(新設店1店 他)	青森県三沢市 他	店舗	10	7	( )	39		58
	合計			10	7	( )	39		58
サンクス西埼玉(株)	店舗(新設店2店 他)	埼玉県入間市 他	店舗	16	0	( )	108		125
	合計			16	0	( )	108		125
サンクス西四国(株)	店舗(新設店1店 他)	愛媛県大洲市 他	店舗	35	2	( )	7		45
	合計			35	2	( )	7		45
(株)サンクス北関東	店舗(新設店2店 他)	栃木県宇都宮市 他	店舗	40	3	( )	57		101
	合計			40	3	( )	57		101
(株)サンクス・ホクリア	店舗(新設店1店 他)	石川県金沢市 他	店舗	10	3	( )	14		29
	合計			10	3	( )	14		29
サンクス東埼玉(株)	店舗(新設店0店 他)	埼玉県久喜市 他	店舗	5	1	( )			6
	合計			5	1	( )			6
(株)99イチバ	店舗(新設店1店 他)	東京都足立区 他	店舗	16	1	( )	10		28
	合計			16	1	( )	10		28
(株)ゼロネットワークス	本部	東京都墨田区	本部			( )	975		975
	合計					( )	975		975

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 (株)リテイルスタッフにつきましては、重要性に乏しいため記載を省略しております。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	180,000,000
計	180,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	86,183,226	86,183,226	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	86,183,226	86,183,226		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年5月31日		86,183,226		8,380		36,090

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,430,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 83,586,400	835,857	
単元未満株式	普通株式 165,926		
発行済株式総数	86,183,226		
総株主の議決権		835,857	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が700株(議決権7個)含まれておりますが、議決権の数には含まれておりません。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が76株、証券保管振替機構名義の株式97株含まれております。

【自己株式等】

平成23年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株サークルKサンクス	愛知県稲沢市天池五反田町 1番地	2,430,900		2,430,900	2.82
計		2,430,900		2,430,900	2.82

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 3月	4月	5月
最高(円)	1,388	1,280	1,274
最低(円)	998	1,177	1,206

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間(平成22年3月1日から平成22年5月31日まで)および前第1四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年5月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)および当第1四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成22年3月1日から平成22年5月31日まで)および前第1四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)および当第1四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,961	68,932
加盟店貸勘定	2,378	3,037
有価証券	15,001	7,027
たな卸資産	<sup>1</sup> 1,746	<sup>1</sup> 1,843
繰延税金資産	1,070	1,327
未収入金	9,701	11,345
その他	12,588	12,249
貸倒引当金	205	191
流動資産合計	128,242	105,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,331	37,207
工具、器具及び備品（純額）	3,266	3,611
土地	8,259	8,295
リース資産（純額）	21,103	18,892
その他（純額）	235	125
有形固定資産合計	<sup>2</sup> 71,196	<sup>2</sup> 68,133
無形固定資産		
ソフトウェア	6,666	6,643
ソフトウェア仮勘定	9	279
のれん	2,506	769
その他	3,464	3,531
無形固定資産合計	12,646	11,223
投資その他の資産		
投資有価証券	2,214	2,523
繰延税金資産	5,044	3,148
差入保証金	43,122	43,569
その他	6,664	6,796
貸倒引当金	920	939
投資その他の資産合計	56,125	55,099
固定資産合計	139,968	134,455
資産合計	268,211	240,027

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,320	33,706
加盟店借勘定	3,442	2,244
未払金	5,263	6,464
未払法人税等	1,164	4,342
預り金	49,154	27,561
賞与引当金	1,307	1,448
その他	6,581	5,764
流動負債合計	105,232	81,533
固定負債		
リース債務	10,332	9,030
退職給付引当金	116	70
資産除去債務	6,530	-
長期預り保証金	10,019	10,160
長期リース資産減損勘定	1,253	995
その他	1,513	1,564
固定負債合計	29,766	21,821
負債合計	134,998	103,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,380	8,380
資本剰余金	36,087	36,092
利益剰余金	93,330	96,738
自己株式	5,032	5,032
株主資本合計	132,766	136,179
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	446	493
評価・換算差額等合計	446	493
純資産合計	133,212	136,672
負債純資産合計	268,211	240,027

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	24,450	25,549
その他の営業収入	3,066	3,022
営業収入合計	27,516	28,571
売上高	19,816	18,314
営業総収入合計	47,333	46,886
売上原価	15,289	14,042
営業総利益	32,044	32,843
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	3,837	3,858
賞与引当金繰入額	465	620
退職給付引当金繰入額	214	209
賃借料	12,704	12,687
減価償却費	2,696	2,953
貸倒引当金繰入額	59	-
その他	8,392	7,758
販売費及び一般管理費合計	28,370	28,086
営業利益	3,673	4,756
営業外収益		
受取利息	117	96
受取配当金	60	35
受取補償金	70	28
その他	39	48
営業外収益合計	287	209
営業外費用		
支払利息	61	83
解約損害金	228	167
その他	19	4
営業外費用合計	309	256
経常利益	3,652	4,709



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	12	76
貸倒引当金戻入額	-	34
段階取得に係る差益	-	258
その他	0	14
特別利益合計	12	384
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	55	38
減損損失	2,405	2,508
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	4,028
災害による損失	-	807
その他	54	14
特別損失合計	2,515	7,397
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,149	2,302
法人税、住民税及び事業税	1,505	1,038
法人税等調整額	749	1,607
法人税等合計	755	569
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	1,733
四半期純利益又は四半期純損失( )	394	1,733

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,149	2,302
減価償却費及びその他の償却費	2,864	3,128
減損損失	2,405	2,508
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	4,028
のれん償却額	21	66
投資有価証券評価損益( は益)	3	12
固定資産処分損益( は益)	42	38
貸倒引当金の増減額( は減少)	97	131
賞与引当金の増減額( は減少)	449	144
退職給付引当金の増減額( は減少)	67	6
受取利息及び受取配当金	177	132
支払利息	61	83
営業債権の増減額( は増加)	2,792	1,966
たな卸資産の増減額( は増加)	1	131
買掛金・加盟店借勘定の増減額( は減少)	4,702	5,327
未払金及び未払費用の増減額( は減少)	835	540
預り金の増減額( は減少)	22,761	21,301
解約損害金	92	156
その他	296	1,005
小計	30,288	34,425
利息及び配当金の受取額	111	80
利息の支払額	53	76
法人税等の支払額	719	4,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,626	30,323
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	7	1,000
定期預金の払戻による収入	24	11
有価証券の売却による収入	3,000	-
有形固定資産の取得による支出	3,486	2,425
有形固定資産の売却による収入	43	90
無形固定資産の取得・長期前払費用の支出	301	663
投資有価証券の売却による収入	-	200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	438
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	28	-
貸付けによる支出	334	860
貸付金の回収による収入	365	679
差入保証金の差入による支出	697	585
差入保証金の回収による収入	1,194	1,141
その他	7	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	163	3,823

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	384	655
長期借入金の返済による支出	660	-
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	1,676	1,675
預り保証金の受入による収入	101	84
預り保証金の返還による支出	284	265
その他	0	29
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,904</b>	<b>2,541</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	26,558	23,957
現金及び現金同等物の期首残高	63,499	75,938
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,057	99,896

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日至平成23年5月31日)	
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 当第1四半期連結会計期間から、株式取得によりサンクス東埼玉㈱を連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 9社
2. 会計処理基準に関する事項の変更	資産除去債務に関する会計基準の適用 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、営業利益が99百万円、経常利益が94百万円、税金等調整前四半期純利益が4,253百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は6,636百万円であります。

【表示方法の変更】

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日至平成23年5月31日)	
(四半期連結損益計算書関係) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月16日)に基づく「財務諸表規則等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失( )」の科目を表示しております。	

【簡便な会計処理】

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日至平成23年5月31日)	
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)  
該当事項はありません。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)		前連結会計年度末 (平成23年2月28日)	
1	たな卸資産の内訳	1	たな卸資産の内訳
	商品及び製品 1,712百万円		商品及び製品 1,799百万円
	原材料及び貯蔵品 34百万円		原材料及び貯蔵品 44百万円
2	有形固定資産の減価償却累計額 53,558百万円	2	有形固定資産の減価償却累計額 49,528百万円
3	偶発債務	3	偶発債務
	金融機関からの借入金等に対して、次のとおり債務保証を行っております。		金融機関からの借入金等に対して、次のとおり債務保証を行っております。
	加盟契約者 3,550百万円		加盟契約者 3,651百万円
	サークルケイ四国(株) 269百万円		サークルケイ四国(株) 285百万円
	その他 2百万円		その他 0百万円
	合計 3,821百万円		合計 3,937百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	88,053百万円	現金及び預金勘定	85,961百万円
有価証券に含まれるMMF	2,024百万円	有価証券に含まれるMMF	百万円
有価証券に含まれるFFF	百万円	有価証券に含まれるFFF	15,001百万円
計	90,078百万円	計	100,963百万円
預入期間3ヵ月超の定期預金	20百万円	預入期間3ヵ月超の定期預金	1,067百万円
現金及び現金同等物	90,057百万円	現金及び現金同等物	99,896百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成23年5月31日)および当第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	86,183,226

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	2,430,977

3 新株予約権の四半期連結会計期間末残高等

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月25日 定時株主総会	普通株式	1,675	20.00	平成23年2月28日	平成23年5月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

全セグメントの営業総収入の合計、営業利益の合計額に占めるコンビニエンスストア事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

在外連結子会社および在外支店がないため記載しておりません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

海外売上高がないため記載しておりません。

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

企業結合に係る取引に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
1,590.55円	1,631.86円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
純資産の部の合計額(百万円)	133,212	136,672
普通株式に係る純資産額(百万円)	133,212	136,672
普通株式の発行済株式数(株)	86,183,226	86,183,226
普通株式の自己株式数(株)	2,430,977	2,430,976
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	83,752,249	83,752,250

2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
1株当たり四半期純利益 4.70円	1株当たり四半期純損失( ) 20.70円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 円

- (注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
3. 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益 又は四半期純損失( ) (百万円)	394	1,733
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失( ) (百万円)	394	1,733
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	83,753,799	83,752,271

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

リース取引開始日がリース取引に関する会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っておりますが、当該取引残高は前連結会計年度末と比べて著しい変動は認められないため記載を省略しております。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 7月13日

株式会社サークルKサンクス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 永 田 昭 夫 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松 本 千 佳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新 家 徳 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サークルKサンクスの平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成22年3月1日から平成22年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サークルKサンクス及び連結子会社の平成22年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年7月13日

株式会社サークルKサンクス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 川 勝 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新 家 徳 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サークルKサンクスの平成23年3月1日から平成24年2月29日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サークルKサンクス及び連結子会社の平成23年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。